

【展示室3】 <新収蔵品展> 作品リスト

周南市美術博物館  
学芸課

2021年3月5日(金)～28日(日) 月曜休館

寄贈作品・・・◆ ※展示順とは異なります。

新収蔵作品							
NO.	部門	作家名	作品名【よみ方】	点数	制作年	材質(形状)	サイズ(縦×横 cm)
1	美術	宮崎進	釧路の夕日	1	1963(昭和38)年	油彩・厚紙	32.0×41.0
2			加工場 ◆	1	1964(昭和39)年	油彩・板	91.0×91.0
3			北の海 ◆	1	制作年不詳	油彩・キャンバス	91.0×72.7
4			冬の海 ◆	1	制作年不詳	油彩・板	91.0×91.0
5			網 ◆	1	1964(昭和39)年	油彩・キャンバス	112.0×112.0
6			北の海	1	1964(昭和39)年	油彩・板	118.1×152.2
7			樹【き】 ◆	1	制作年不詳	油彩・キャンバス	72.7×116.7
8			流氷の海 ◆	1	制作年不詳	油彩・板	116.7×91.0
9			北の海 ◆	1	制作年不詳	油彩・キャンバス	91.0×91.0
10			担ぐ ◆	1	制作年不詳	油彩・板	91.0×91.0
11			北の祭り ◆	1	制作年不詳	油彩・キャンバス	116.7×72.7
12			牛と人 ◆	1	制作年不詳	油彩・板	116.7×91.0
13			北の海 ◆	1	制作年不詳	油彩・板	116.7×91.0
14		松林桂月	飛龍【ひりゅう】 ◆	1	1940(昭和15)年	絹本墨画	41.0×50.0
15		大庭学僊	山水図	1	1894(明治27)年	紙本墨画	183.0×97.4
16			鶴図	1	1896(明治29)年	絹本着色	140.5×86.6
17			劉阮天台図【りゅうげんてんだいず】	1	制作年不詳	絹本着色	131.6×57.8
18		田中柏陰	富士形 香合【ふじがた こうごう】	1	制作年不詳	陶器	4.5×4.6×4.0
19	歴史	毛利元蕃	【もうりもとみつしよしょうらん ゆうしょうをむすぶ】 毛利元蕃書 松嵐結幽賞	1	制作年不詳	紙本墨書	109.8×36.1
20	写真	野村恵子	【オタリ プリステイン ピークス さんれい にわ】 「Otari-Pristine Peaks 山霊の庭」 ◆ ※54点のうち10点展示(代表作5点を含む)	10	2018(平成30)年	銀塩紙	

計20件

計 29 点

## 作家略歴

- 毛利元蕃  
(1816-1884) 徳山毛利家 9 代藩主。広鎮(ひろしげ)の七男。幕末維新の激動の時期に藩主であった元蕃は、萩藩に養子に行った弟・元徳(萩藩 14 代藩主)と協力し、時局を乗り切った。『省耕集』『随風集』など詩歌集を刊行したり、騎射の礼法の師範であったりと文武に優れていた。
- 大庭学僊  
(1820-1899) 日本画家。徳山の刀工三好與次兵衛(みよしよじべえ)の次男として生まれる。11 歳で徳山藩の御用絵師 朝倉南陵に師事し、南江と号す。のち京都に出て、小田海僊に師事し学僊と改名。独立し、萩で町絵師として活躍。維新後、東京に移り、南北両派を合わせ独自の画風をつくり、山水・花鳥画を得意とした。第 1 回内国絵画共進会審査員。明治宮殿杉戸絵の制作にも参加。晩年長府、下関へと移り住み、80 歳で死去。
- 田中柏陰  
(1866-1934) 日本画家。駿河国(現・静岡県)生まれ。1883(明治 16)年、17 歳で京都に上り田能村直入(たのむらちよくにゅう)に師事。1900(明治 33)年結婚、妻の実家である右田村(現・防府市右田)の田中家の養子となり田中柏陰を名乗る。そこで画塾・画禅室(海北邨舎)を開き藤本木田、藤井小陰をはじめ多くの門人を育てた。1934(昭和 9)年、療養先の静岡県興津において没す。享年 68 歳。
- 松林桂月  
(1876-1963) 日本画家。萩生まれ。1894(明治 27)年野口幽谷に入門。1901(明治 34)年同門の松林孝子と結婚。松林姓を名乗る。1907(明治 40)年文展に際し、正派同志会に参加。翌年第 2 回展から連続出品。1919(大正 8)年帝国美術院創設。第 1 回帝展審査員を委嘱される。1950(昭和 25)年無名会結成。1958(昭和 33)年文化勲章受章。
- 宮崎進  
(1922-2018) 洋画家。徳山町(現・周南市)御弓町生まれ。1942(昭和 17)年日本美術学校油絵科を繰り上げ卒業、同年入隊、戦後捕虜となりシベリアに抑留される。復員後、上京。1967(昭和 42)年第 10 回安井曾太郎記念賞受賞。1972(昭和 47)～74(昭和 49)年渡仏、帰国後はアトリエを鎌倉に移す。1995(平成 7)年小山敬三賞、1998(平成 10)年第 48 回芸術選奨文部大臣賞、2007(平成 19)年旭日小綬章受章。2009(平成 21)年から周南市美術博物館名誉館長をつとめた。
- 野村恵子  
兵庫県神戸市生まれ。大学中退後、大阪写真専門学校(現・ビジュアルアート専門学校・大阪)を卒業。その後渡米し、ロサンゼルスやサンタフェで写真を学ぶ。1995(平成 7)年帰国後ベトナムで撮影を開始。1996(平成 8)年、初の写真展「越南花眼(えつなんかがん)」開催。1997(平成 9)年ユニカプラザ「新しい写真家登場特別賞」受賞。1999(平成 11)年沖縄をテーマにした「DEEP SOUTH」で日本写真協会賞新人賞受賞。2000(平成 12)年東川新人作家賞受賞。2019(令和元)年第 28 回林忠彦賞受賞。現在、東京を拠点に活動。